

プライドアイス
Pride Ice

LGBTQ+の多様性の象徴とされる6色のレインボーフラッグをはじめ、様々なセクシュアリティを表すフラッグカラーをテーマとした5種のかき氷「プライドアイス」をご用意いたしました。

オーバー ザ レインボー

Over the Rainbow：虹の彼方に

ラズベリー、アプリコット、マンゴーレモン、キウイ、ブルーハワイ、ブルーベリー-の6種のフルーツソースで、LGBTQ+の象徴レインボーカラーを表現しています。カラフルで、フルーツソースのおいしさが生きる遊び心満点のかき氷です。【レインボーカラーは60年代に米国のLGBTQコミュニティから絶大な支援を得ていたアメリカ女優ジュディ・ガーランドの名曲「虹の彼方に」から由来するとも言われています。】

2,200円

ビー ユアセルフ

Be yourself

GENDERQUEER（第三の性）のシンボルカラー、グリーンとパープルを使い、すべての人が自分らしく生きられる世界を願い、Be Yourself（あなたらしく）と名付けました。抹茶と紫芋のソースで和テイストの味わい深いかき氷に仕上げました。

2,500円

Pride Iceはコーヒー・紅茶のセットとなっております
▼こちらからお飲み物をお選びください。

- | | |
|--------------------|---------|
| ・フェアトレードブレンドコーヒー | HOT・ICE |
| ・カフェオレ | HOT・ICE |
| ・TWG フレンチアールグレイティー | HOT・ICE |
| ・TWG 夏摘みアッサムティー | HOT |
| ・TWG ロイヤルダージンティー | HOT |
| ・TWG レッドジャスミンティー | HOT |
| ・ジャスミンティー | HOT・ICE |
| ・デカフェ アールグレイティー | HOT |

期間限定メニュー

各2,200円

6月14日 - 7月4日

トランス プライド

Trans Pride



ピンク、白、ライトブルーのトランスジェンダーのフラッグカラーは、ミルク苺、練乳、ブルーハワイで表現しました。フラッグのライトブルーとピンクはそれぞれ男性と女性を表し、白はニュートラルとする人たちのための白です。

7月5日 - 7月31日

ベリー ベリー ラブ

Very Berry Love



ミックスベリー、ラズベリー、いちごのソースに練乳を加え、色合いが違うピンクと赤、白で仕上げた果実好きには嬉しいかき氷。近年多く使われているLesbian フラッグカラーをそのままに表現しました。

8月1日 - 8月31日

ピンキー ドリーム

Pinky Dream



悲しい歴史の中で人種選別に使われた三角形のバッジ、ピンクトライアングル。70年代のLGBT解放運動の象徴となりました。明るい希望に満ちた喜びを、このかき氷ではミルクピーチのシロップを掛け、マシュマロと白玉をあしらいかわいらしい仕上がりにしました。

料金はすべて消費税を含んだ金額です。

Sorano Pride Summer

6月はアメリカをはじめ、世界各地で「プライド月間（Pride Month）」とされ、LGBTQ+の権利について啓発を促すさまざまなイベントが開催されます。

世界中の人々が多様性とLGBTQコミュニティを祝福する6月から始まる今夏、SORANO HOTELでは様々なセクシュアリティをテーマとしたメニューをご用意し、「ソラノプライドサマー」としてお客様とともに多様性を認め合う社会について考える啓発期間といたします。

LGBTQ+とは？

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クイア/クエスチョニングの頭文字をとった言葉で、性的少数者の総称として使われることもあります。また、近年ではLGBTQに含まれない方々を+（プラス）で表現するようになりました。

Lesbian/レズビアン：自分を女性として自認し、恋愛対象が女性の方

Gay/ゲイ：自分を男性として自認し、恋愛対象が男性の方

Bisexual/バイセクシュアル：女性も男性も恋愛対象となる方

Transgender/トランスジェンダー：出生時に記載された身体的な性別と性自認（自身が認識する性別）が一致しない方

Queer/クイア：性的少数者の生き方や態度を表す言葉で、LGBTという定義に囚われたくない方やLGBTをはじめとする性的少数者全体の総称としても広く使われています

Questioning/クエスチョニング：性自認や性的指向が定まっていない、また意図的に定めていない方

様々なセクシュアリティを表すフラッグ（旗）やカラー

レインボー



LGBTQ+の多様性と尊厳を象徴する6色のレインボーフラッグは、1978年にアメリカのギルバート・ベイカー氏によってデザインされ、現在では世界中で使われています。ベイカー氏は60年代に米国のLGBTQコミュニティから絶大な支援を得ていたジューディ・ガーランドが歌った「虹の彼方に」に着想を得てレインボーフラッグをデザインしたとされ、当時はセクシュアリティを表すピンクと芸術を表すターコイズを入れた8色で構成されていました。それぞれの色にも意味が込められているのです。

クイア



2011年に制作されたジェンダークイアフラッグ（作者不詳）のラベンダーは「男らしさ・女らしさの組み合わせ」を表し、白は「中立的な性やクエスチョニング」、緑は「男らしさまたは女らしさの外側で定義されている性別」を表現しています

トランスジェンダー



ピンク、白、水色のフラッグはトランスジェンダーの誇りを表すカラー。上下のストライプは男の子の伝統的な色であるライトブルー、その内側のストライプは、女の子の伝統的な色であるピンク。真ん中のストライプは、ジェンダーの移行中の人たちや、自分自身をニュートラルまたは未定義の性別を持つと考えている人たちのための白。1999年にアメリカのトランス女性であるMonica Helmsによってデザインされました。

レズビアン



レズビアン・プライドフラッグは現在でも様々なデザインが存在していますが、2010年から比較的多く使われているデザインがこちらです。中に白いバーがついた6つの赤とピンクの色合いで構成され、もともとは唇のイラストが描かれたリップスティックレズビアンフラッグから派生しました。

ピンクトライアングル



ゲイのアイコンカラーとしても人気のラベンダーピンク。元々はナチス政権下にホロコーストで強制収容された者に装着が義務づけられていた三角形の識別胸章のうち、男性の同性愛者が装着させられていたピンクトライアングル。その後70年代のゲイ解放運動の象徴として使われ、現在では性的少数者のプライドや権利を象徴するシンボルとして生まれ変わっています。